

消防だより



虹のマーチ

2011.2
第18号

川越地区消防組合



春の全国火災予防運動実施 期間平成23年3月1日(火)~3月7日(月)

逃げ遅れ者の救出訓練



グループホームにおける火災安全対策

12月6日、セイジョーグループホーム川越（川越市鯨井）において、施設職員、消防隊、近隣協力者が連携した自衛消防訓練を実施しました。

この訓練は、昼間の火災を想定したもので、自衛消防隊による初期消火、一一九番通報、そして、実際に入居者を避難場所まで誘導し、近隣協力者による見守りを行うなど、特に避難誘導体制の確立を目指しています。

施設職員から通報を受けた消防隊が、濃煙による視界不良を想定した施設内を捜し、逃げ遅れ者（訓練用入形）の救出訓練を実施するなど、より実践的なものとなりました（上写真）。

訓練終了後、施設職員と近隣協力者を交えた検討会を行い、入居者の特性を踏まえた適切な避難誘導の難しさや、消防隊への情報提供の重要性を改めて認識するなど、今後に向けた具体策が提案されました。

火災の際には、大きな人命被害を受ける危険性が高い社会福祉施設。施設の安全性の程度を自覚し、ソフト面を強化するとともに火災を未然に防ぐことが極めて重要です。

今回の自衛消防訓練は、入居者および施設職員の災害対応能力の向上を図るだけでなく、地域ぐるみの防災意識の高揚を図るうえでも有効な訓練となり、社会福祉施設における火災安全対策を考えるうえで貴重な第一歩となりました。

「消したかな」あなたを守る 合言葉

川越地区消防組合管内の平成22年中の火災件数は、過去十年間の最少件数（百二件）となりました。これは、皆さん一人一人の防火意識が高まり、火災予防が徹底されたことによるものです。今後も、火の元、火の取り扱いには十分注意し、火災予防にご協力をお願いします。

消防局予防課 Tel 222-0744

川越北消防署消防課 Tel 226-7290

川越中央消防署消防課 Tel 242-1194

川越西消防署消防課 Tel 231-1197

川島消防署消防課 Tel 297-1979

川越地区消防組合

たばこによる火災に注意

川越地区消防組合の昨年の火災件数は百二件です。平成21年と比べると十七件減少しました。その中にはたばこによる火災が十件ありました。



たばこによる火災のうちでも特に、寝たばこによる火災は怖いもの。枕元で発生するために、一酸化炭素中毒により命を落とすことも少なくありません。たばこによる火災は、喫煙者がきちんと後始末すれば防ぐことができます。

たばこが原因の火災

- ・寝たばこをして、たばこの火種がふとんに落ちた
- ・たばこを灰皿に捨てた際、消し損ねて他の吸い殻が燃え始め、ガラスの灰皿が割れて延焼
- ・吸い殻をゴミ箱に捨てたら、消えていないたばこがゴミに着火



たばこを吸う際の注意点！

- ・「寝たばこは、しない、させない」を徹底する
- ・灰皿には吸い殻をためておかない
- ・灰皿には水を入れておく
- ・たばこの吸い殻は、必ず灰皿に捨てる
- ・吸い殻をゴミ箱に捨てる時は、水をかける
- ・喫煙する皆さんは、火を扱っているということを感じ、
- ・「寝たばこ」「投げ捨て」など、決してしないようお願いいたします。

安全に給油をしましょう！

近年、ガソリンスタンドの設置件数は、全国的に減少傾向にあります。しかし、セルフスタンド（ドライバードライバースタンド）の設置件数は増加しています。川越地区消防組合管内においてもセルフスタンド設置件数は総数の半数近くを占めており、増加傾向にあります。

ガソリンや灯油などの簡単に手に入り、利便性に富み、私たちの生活には欠かせないので、燃料です。しかし、その取り扱いを誤ると、火災や吹きこぼれによる事故につながる危険なものです。



正しい取り扱い方法、注意点を守り安全に給油を行いましゅう。

消防団員募集！

消防団員は、自らの職業とは別に、奉仕と郷土愛護の精神で地域の安全・安心を守るため日々消防活動しています。

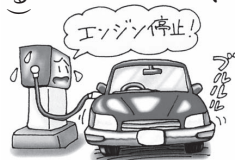


詳しくは下記まで問い合わせください。

消防局総務課
Tel.222-0741
川島消防署消防課
Tel.297-1979

セルフスタンドで給油を行う際の注意点！

- ・ガソリンスタンドでは喫煙しない
- ・給油中はエンジンを停止する
- ・給油中は携帯電話を使用しない
- ・給油を開始する前に必ず体に溜まった静電気を取り除く
- ・（静電気除去シートなどに触れる）
- ・吹きこぼれないように給油ノズルを給油口の奥まで差し込み、注ぎ足しをしない
- ・容器へのガソリン注入はしない



「住警器コバトン」を探そう！

「住宅用火災警報器をつけよう」と書かれたタスキをかけた「住警器コバトン」が春の火災予防運動期間中（3月1日～7日）に川越地区消防組合管内の各所にあらわれます。

期間限定のレアな「コバトン」を見かけたら、声をかけてみましょう。



消防局予防課
Tel.222-0744

春の全国火災予防運動

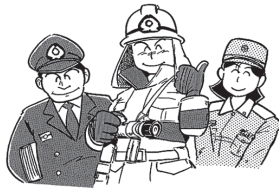


平成23年3月1日(火)から3月7日(月)までの間、全国一斉に春の火災予防運動が実施されます。

この運動は住民の皆さんの火災予防に対する意識を高め、火災から尊い生命と財産を守ることを目的として行われます。

これから春先にかけて気温が変化するとともに、空気が乾燥し、火災が発生しやすい気候となります。

皆さんも火の取り扱いに十分注意し、火災予防にご協力をお願いします。



2010年度全国統一防火標語「消したかな」あなたを守る 合言葉

本当に救急車は必要ですか？



救急車は、急病や交通事故などで、生命の危険にある傷病者を、医療機関へ搬送しています。しかし、救急車の台数には限りがあります。

平成22年中の川越地区消防組合管内の救急出場件数は14,687件で、前年と比較し1,197件増加しています。

また、傷病程度が入院を必要としない軽症の傷病者の割合は52.7%で前年と比較し0.2%減少していますが、依然として救急要請時に「軽症だけど病院に行く交通手段がない」「救急車で病院に行ったほうが優先的に診察してくれると思った」という理由で救急要請する場合があります。

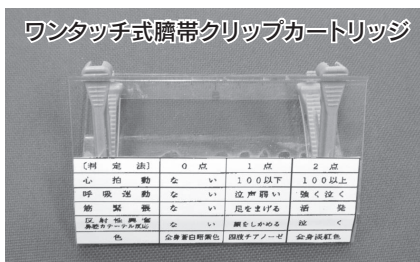
通常、119番通報をすると、現場に最も近い救急車が出場します。しかし、救急出場件数の増加により、現場に最も近い救急車がすでに出場しているため、他の地域から救急車が出場するケースが増加しています。

このままでは、緊急を要する重症者への対応が遅れ、病院到着までに時間を要してしまうおそれがあります。救急車を要請する前に「緊急に救急車で行かなければならないのか?」「タクシーなどを利用して行くことはできないのか?」受話機を取る前に考えてみてください。

救急車の適正利用について、皆様のご理解ご協力をお願いします。

消防局救急課 TEL222-0160

救急出場時に現場及び車内分娩を行った際、救急隊員は臍帯（へその緒）を臍帯クリップという器具を使用し、新生児側と母体側にそれぞれ二回結紮する必要がありました。



川越西消防署名細分署の松木副士長の考案した「ワンタッチ式臍帯クリップカートリッジの開発」が総務省消防庁平成22年度消防防災機器の開発等、消防防災科学論文及び原因調査事例の消防庁長官表彰の「優秀賞」を受賞し、10月25日に川越地区消防組合管理者より表彰状と記念品が伝達されました。

消防庁長官表彰を受賞

この二回の動作が一回で容易にでき、早期に医療機関に搬送することができるといった点などが高い評価を得ました。川越地区消防組合では、今後も様々な消防機器の開発・改良を行っていきます。

消防局予防課
TEL222-0744

埼玉SMART合同訓練

1月28日、坂戸、鶴ヶ島下水道組合の石井水処理センター（坂戸市石井）で埼玉SMART合同訓練を実施しました。

「埼玉SMART」とは、埼玉県特別機動援助隊の愛称で、地震による建物崩壊や列車脱線事故



平成22年の一一九番通報は、二万三千五百五十八件でした。そのうち、携帯電話からの一一九番通報は、六千五百二十四件で、携帯電話からの通報割合は全体の27.7%となっています。これは、五年前と比べると約11%の増加となっています。携帯電話による通報は、屋外からかけていることが多いため、通報者が自分のいる場所を特定できない、電波状態が悪く情報が聞き取れないことがあります。

そのため、消防車や救急車が出場するまでに、通常より時間がかかることがあります。皆様のご理解とご協力をお願いします。

消防局指揮統制課 TEL226-7408



携帯一一九番について



今後このような大災害が発生したときに迅速に対応できるように他機関との協力体制を強化し安全で安心なまちづくりを目指していきます。

消防局警防課
TEL222-5891

今回の訓練は、埼玉県内で震度六の揺れを記録し、建物倒壊や土砂崩れにより、多くの被害者が発生したという想定で、消防チーム・医療チーム・防災航空隊が訓練に参加しました。

この部隊に川越地区消防組合は登録しています。

平成21年度決算

消防局総務課 TEL 222-0741

歳入

負担金 (消防行政を運営するのに必要な負担金(組合を構成する川越市・川島町からの負担金))	4,556,480,617円 (97.0%)
使用料及び手数料 (消防関係検査等の手数料等)	4,619,887円 (0.1%)
財産収入 (基金運用の利子等)	1,361,824円 (0.0%)
繰越金 (前年度から持ち越されたお金のこと)	21,480,037円 (0.5%)
諸収入 (受託収入等の他の収入科目に含まれないもの)	20,955,973円 (0.4%)
組合債 (金融機関等からの借入金)	83,200,000円 (1.8%)
国庫支出金 (一定の事業に使いみちを特定して国から交付されるもの)	8,826,000円 (0.2%)
歳入合計	4,696,924,338円

歳出

議会費 (議員報酬等の議会運営費)	5,390,431円 (0.1%)
総務費 (組合管理者・公平委員・監査委員等の特別職の報酬等の経費)	2,877,448円 (0.1%)
消防費 (消防・救急等に必要な経費および消防施設の建設費等)	4,333,483,877円 (93.4%)
公債費 (借入金の元金、利子の返済のための経費)	298,199,057円 (6.4%)
歳出合計	4,639,950,813円

※比率(%)の合計は、端数処理の関係で100%とならない場合があります。「0.0」は、該当数値はあるが表示単位未満のものです。

消防局総務課 TEL 222-0741

川越地区消防組合定例表彰式
 川越市市民会館で定例表彰式と消防音楽隊定期演奏会を開催します。入場無料。
 開催日 3月6日(日)
 時間 午後1時～午後2時15分
 川越地区消防組合管理者表彰、消防団長表彰
 川越地区消防組合消防音楽隊定期演奏会
 時間 午後2時30分～午後4時(予定)
 ぜひ、この機会に消防音楽隊の演奏をお聴きください。

川越地区消防組合定例表彰式・消防音楽隊定期演奏会

川越市市民会館で定例表彰式と消防音楽隊定期演奏会を開催します。入場無料。
 開催日 3月6日(日)
 時間 午前11時～午後4時
 川越市市民会館(川越市郭町一丁目)
 *今年度は、異なる会場で行われます。
 消防局予防課 TEL 222-0744

日 3月5日(土)
 時間 午前10時30分～午後4時30分
 開催場所 アトレ(川越市脇田町)
 六階コミュニケーションルームA
 日 3月6日(日)
 時間 午前11時～午後4時
 開催場所 川越市市民会館(川越市郭町一丁目)
 *今年度は、異なる会場で行われます。
 消防局予防課 TEL 222-0744



昨年の幼年消防クラブ絵画展の様子

毎年、春の火災予防運動期間中に幼年消防クラブの絵画展を開催しています。
 園児たちの描く個性あふれた消防自動車などの絵をぜひご覧ください。皆さんのご来場お待ちしております。

幼年消防クラブ絵画展

虹色通信 - 国際消防救助隊とは・・・ -



「スマトラ沖大地震」捜索活動(平成16年)

国際消防救助隊(IRT)は、海外で大規模な災害が発生した場合に、救出活動等を行うことを任務とする救助チームです。世界のトップレベルの救助技術を持つ市町村の消防機関の協力により迅速に救助隊を派遣します。現在、川越地区消防組合では救助隊員6人を登録し、派遣要請に備えています。

平成16年に発生した「スマトラ沖大地震」の際には救助隊員1人をタイ国へ派遣。プーケット島および周辺諸島において、被災者の救出活動を行いました。今後も救助隊員はセミナーや研修などに積極的に参加し、知識や技術の向上を図っていきます。

消防局総務課 TEL 222-0741

川越市西小仙波町一丁目 小川良一さん
 ◎救急活動協力を貢献
 から感謝状が贈られました。
 株式会社丸広百貨店川越店
 消防・救急・救助活動協力に対し、消防局長から感謝状が贈られました。

ありがとうございます

消防だより

虹のマーチ

2011.2 第18号

□発行/川越地区消防局 総務課

〒350-0823川越市神明町4-8 TEL 049-222-0741

http://www.119kawagoechiku.jp/

火事・救急・救助は119番 消防テレホンサービス TEL223-0700 *かけまちがないようにご注意ください。

平成22年中の火災・救急・救助件数

火災 102件
 救急 14,687件
 救助 161件

119番入電件数は23,558件でした。

